

母子保健奨励賞決まる 毎日新聞社賞に3人

母子保健の分野で業績を上げた人に贈られる第33回母子保健奨励賞(母子衛生研究会主催、厚生労働省・全国衛生部長会・毎日新聞社・NHK後援、日本ケミカルリサーチ協賛)の受賞者15人が28日、発表された。毎日新聞社賞には▽群馬県富岡市の富岡甘楽歯科医師会主任(歯科衛生士)入山久美子さん(54)▽長野県伊那市の明生助産所所長(助産師)、鹿野恵美さん(49)▽大阪府和泉市の府立母子保健総合医療センター栄養管理室副室長(管理栄養士)、西本裕紀子さん(46)——の3人が選ばれた。他の受賞者は次の皆さん。(敬称略)

△NHK賞▽山形県新庄市、三條加奈子(54)▽長崎県長与町、志田純子(49)▽さいたま市岩槻区、平野素尚(48)△奨励賞▽栃木県足利市、大島裕子(54)▽福井県若狭町、河原智恵美(51)▽兵庫県宝塚市、田中由香(44)▽山口県平生町、吉本みどり(54)▽徳島県美馬市、古野慈敬(53)▽福岡県春日市、大牟田智子(51)▽熊本県益城町、姫野晶子(51)▽沖縄県名護市、泉川良範(53)▽神戸市兵庫区、渋谷光代(53)

地域歯科に30年

入山久美子さん



「私一人ではなく、支えてくれた仲間と一緒に受賞したのだと思います」。地域の歯科保健活動に30年以上取り組み、群馬県内12保健所でワーストだった地区の虫歯保有率を「ベスト1」に向上させるのに貢献した。保健所の嘱託歯科衛生士としてかわった富岡甘楽地区は、乳幼児の歯科健診に力を入れ始める87年以前、虫歯保有率が80%近くに達していた。子どもたち

ちに歯の大切さを理解してもらえよう学校や保育所などを巡回して寸劇を披露したり、保護者向けには家庭でのフッ化物利用を促進するなど意識改革を進めた。この結果、06年度には虫歯保有率が17.2%に減少した。

残った課題は経済的な理由や家庭環境などから歯科医院で受診しない「健康格差」。受けられる行政サービスを知らないまま、歯がむしばまれていく子どもたちもおり「すべての人に正しい知識と情報を伝え、きめ細かい支援ができるよう歯科保健環境のさらなる整備に努めたい」と話す。

【畑広志】

妊婦の指導尽力

鹿野恵美さん



伊那中央病院の助産師として8年半、旧高遠町(現伊那市)と伊那市の保健師として14年半勤め、08年に念願の助産所を開業した。「今後も頑張れ、という励ましの受賞だと受け止めている」と喜びを語る。

病院時代は母乳保育の推進や妊婦の体づくりに指導に尽力。保健師時代は、産後に親の助けが得られない母親を支援する「産後ヘルパー派遣事業」創設な

どに取り組んだ。これらの経験を生かし「妊婦、母親の話を聞きながら、自ら考え行動する力が持てるよう相談に応じている」と言う。

開業は学生時代からの夢だった。現在は年十数件の出産を扱い、上伊那地方の他の開業助産師の支援で月4、5件の出産を手伝う。妊婦に運動を促すマタニティーピクスの教室を開いたり、母乳が出ず悩む母親の相談に応じたりと、幅広い支援を行う。助産院や自宅で出産した自らの体験を踏まえ「妊産婦に寄り添い、その人らしい出産ができるようお手伝いしたい」と意欲を話す。

【武田博仁】

小児専門栄養士

西本裕紀子さん



「初めて聞く病気ばかりで試行錯誤の連続だった」。重度の病をもつ子の栄養管理に20年以上携わり、小児科専門の栄養士という分野を切り開いてきた。

現在在業務と並行し、病気ごとの栄養値の基準を作る研究ノウハウを身につけようと大学院で学ぶ。「受賞は、現場の医師の妥協ない指導のおかげ。まだ走り始めたばかりだが、小児科専門の栄養士の必要性を発信していければ」と今後への思いを強くしている。

病児の栄養管理は栄養学の中でも未開発の領域。患者や家族と面談を繰り返して、不安を取り除きながら、病気ごとの指導方法を探った。銅を体外に出せない難病のウィルソン病児や腎疾患児の献立作りを手助けする食品交換表を作成。病児と家族を支え続けた。

【内田幸一】

相双 感謝の力走

高校駅伝「急造」でも息ピタリ 福島予選

福島県猪苗代町で28日に開かれた全国高校駅伝競走大会の県予選に、東日本大震災や東京電力福島第1原発事故の影響で部員不足になり、単独での出場が困難になった4校の男子合同チーム「相双」が出場した。「走るこ



とで後輩たちになすきをつなぎたい」という選手たちの願いがかない、特例での出場。別々のユニホームを着た7人の走者は42・19

福島第1原発周辺の累積線量結果 (文部科学省調べ、27日現在)

浪江町津島仲沖 (30km ² 西北西)	36.00
浪江町赤宇木七郎 (31km ² 北西)	85.23
飯館村長泥 (33km ² 北西)	45.77
いわき市三和町差塩 (39km ² 南西)	0.825
葛尾村上野川 (31km ² 西北西)	12.47
福島市杉妻町 (62km ² 北西)	2.980

※単位はミリシーベルト。1ミリシーベルトは1000マイクロシーベルト。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は3月23日(福島市は同24日、いわき市は同25日、葛尾村は4月8日)からの値。

◆大気中の環境放射線量◆

都道府県	27日	重賀	0.066
北海道	0.034	三浦	0.062
青森	0.030	津軽	0.048
岩手	0.036	大館	0.074
宮城	0.067	仙台	0.078
秋田	0.060	和賀	0.078
山形	0.070	山形	0.070
福島	1.360	福島	0.063
茨城	0.092	茨城	0.068
栃木	0.110	栃木	0.081
群馬	0.090	群馬	0.083
埼玉県	0.051	埼玉	0.070
千葉県	0.075	千葉	0.059
東京都	0.070	東京	0.084
神奈川県	0.060	神奈川	0.040
新潟	0.048	新潟	0.062
富山	0.060	富山	0.051
石川	0.053	石川	0.039
福井	0.058	福井	0.048
山梨	0.064	山梨	0.038
長野	0.054	長野	0.035
岐阜	0.065	岐阜	0.019

※文部科学省発表、単位は毎時。高さ1メートルで午前10時観測。福島は午前9時14分観測。

区から4区への中継所 29分52秒で出場43チ

「二」